**オープンな研究実践に係る開示**

**論文タイトル**

**責任著者**

公益社団法人日本心理学会の機関誌「心理学研究」に掲載される論文は，論文で報告されるデータが公に入手可能であること，実験・調査で用いたマテリアル（質問紙，実験刺激等の一次資料）が公に入手可能であること，研究計画が事前登録されていることを示す3種類のオープンサイエンス・バッジの付与を申請することができます。

オープンデータ，オープンマテリアル，事前登録の3種類のバッジは，個別に申請することが可能です。例えば，事前登録はしていないがデータとマテリアルは公に入手可能な状態にしているという場合は，オープンデータとオープンマテリアルの2種類のバッジにだけ申請することができます。

また，複数の研究を実施した際に，その一部の研究だけがバッジの付与対象になるという場合も申請することができます。ただし，その場合は，論文タイトルの注で，どの研究がどのバッジ付与対象であるかを明記していただきます。

例 研究1のデータは●●●より公に入手可能であるが，研究2のデータは▲▲▲の事情で公に入手可能にできない

 研究2の計画は事前登録されていたが，研究１は探索的性格の研究であったため事前登録されていない

申請があったものについては，データやマテリアルが公に入手可能な状態であるか，事前登録されたとおりに研究が実施されているかを，機関誌等編集委員会心理学研究編集小委員会（以下，編集委員会とする）で確認し，認められると，その内容を示すバッジが表題ページに表示されます。申請された内容に疑問がある場合は，編集委員会から著者に問い合わせることがあります。

|  |
| --- |
| オープンデータのバッジ付与には，単にデータファイルが公開されているだけでなく，他の研究者が論文で報告されている分析を行うために必要な全ての情報（コードブック等）が公開されている必要があります。オープンマテリアルのバッジ付与には，他の研究者が論文で報告されている研究を独自に再現するために必要な全てのマテリアル（質問紙，刺激，プログラム，インストラクション等）が公開されている必要があります。 |

※バッジの申請は，あくまで任意のものです。バッジ申請をした論文が査読で有利に扱われる（またはバッジ申請しない論文が査読で不利に扱われる）ことはありません。

バッジに関する情報は，Open Science Framework [wiki](https://osf.io/tvyxz/wiki/home) にも掲載されています。

[ ]  オープンな研究実践に参加する場合，このボックスにチェックを入れ，次ページ以降の質問に回答してください。

オープンな研究実践を示すバッジの付与を申請する場合，希望するバッジに該当する以下のボックスにチェックを入れ，各節で求められている情報を選択，記入，チェックしてください。バッジの付与を受けるためには，公のオープンアクセスレポジトリに掲載された当該情報（データ，マテリアル，事前登録情報）にアクセスするための，URL，DOI，またはその他の永続パスが提供されなければなりません。

公のオープンアクセスレポジトリとは，データ，マテリアル，事前登録された研究計画を保存し，永続的にウェブを通して公に入手可能であり続けるために尽力しているものを指します。例としてはOpen Science Framework ([OSF](https://osf.io/))や各種Dataverseネットワークなどがあり，他にも多数のレポジトリが [http://re3data.org/](http://www.re3data.org/) に掲載されています。研究計画の事前登録は，[OSF](https://osf.io/)，[ClinicalTrials.gov](http://clinicaltrials.gov/)，[WHO Registry Network](http://www.who.int/ictrp/network/en/) に参加する研究登録システム，研究機関の登録システムのような，公にアクセス可能な登録システムで行われなければなりません。

**個人のウェブサイトや，ほとんどの所属部門・部署のウェブサイトは，上記のレポジトリとしては認められません。**

第三者の資料をデータ，マテリアル，事前登録計画に含める場合には，著者はそのための権利を有するか，許諾を得ている必要があります。

**[**[ ] **] オープンデータバッジ**

1. 公のオープンアクセスレポジトリに掲載されたデータにアクセスするための，

URL, DOI, またはその他の永続パスを記入してください。

**[**[ ] **]** 他研究者が論文中で報告されたすべての結果を再現するために十分な情報（該当する場合，各変数のコードブックを含む）が含まれていることを確認しました。

**[**[ ] **] オープンマテリアルバッジ**

1. 公のオープンアクセスレポジトリに掲載されたマテリアルにアクセスするための，

URL，DOI，またはその他の永続パスを記入してください。

**[**[ ] **]** 他研究者が論文中で報告されたすべての方法を再現するために十分な情報が提供されていることを確認しました。

**[**[ ] **] 事前登録バッジ**

1. 公のオープンアクセスレポジトリに掲載された事前登録情報にアクセスするための，

URL，doi，またはその他の永続パスを記入してください。\*

2. 研究計画は，データを収集する前，もしくは結果変数を観測する前に登録されたものですか？

「いいえ」の場合は，説明を記入してください（説明欄は必要に応じて改行してかまいません）。\*\*

回答：**回答を選択してください。**

説明

3. この研究に関する，今回報告された以外の事前登録はありましたか？

「はい」の場合は，リンクと説明を記入してください。\*

回答：**回答を選択してください。**

リンク

説明

4. 仮説を検討する上で主要な分析に，事前登録された研究計画からの変更はありましたか？「はい」の場合，説明を記入してください。\*\*

回答：**回答を選択してください。**

説明

5. 事前登録された計画に記載されたすべての分析が論文中で報告されていますか？

「いいえ」の場合，説明を記入してください。\*

回答：**回答を選択してください。**

説明

\* 1 が提供されない場合，または 3 が強い正当な理由なしに「はい」である場合，または 5 が強い正当な理由なしに「いいえ」である場合には，バッジは付与されません。

\*\* 2 への回答が「いいえ」である場合，事前登録が行われたのがデータ収集以後であるもののデータ分析以前であることを示す，「DE」（Data Exist）がバッジに付記されます。4への回答が「はい」であって変更の強い正当な理由が提供された場合，当初の研究計画からの変更があったものの，事前登録された研究計画と変更の合理的理由が提供されたことを示す「TC」（Transparent Changes)がバッジに付記されます。

以下に責任著者が記名することで，著者らは上記の情報が正確で完全であり，第三者の資料は含まれていないか，原著者または権利者の許諾のもとで公開されており，公開されたデータが同意のない個人を特定できる情報を含まないことを確認します。

**氏 名（**ここをクリックまたはタップしてテキストを入力してください。**）**

**日 付（**クリックまたはタップして日付を入力してください。**）**

＊本様式は，日本社会心理学会で，オープンサイエンス・バッジの申請の際に使用されている「オープンな研究実践に係る開示」を一部改変したものです。また，日本社会心理学会の「オープンな研究実践に係る開示」は，Center for Open Scienceによる[Badges to Acknowledge Open Practices](https://osf.io/tvyxz/) プロジェクトで公開されている様式 [Open Practices Disclosure](https://osf.io/5fndw/) を日本テスト学会が翻訳のうえ，一部改変したものです。

2023年9月6日 公開